

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公表番号】特表2009-515819(P2009-515819A)

【公表日】平成21年4月16日 (2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-534618(P2008-534618)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 0 7 K 14/475 (2006.01)

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/24

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 47/48

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 25/14

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 16/46

C 0 7 K 14/475

C 0 7 K 14/52

C 0 7 K 14/47

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 P 21/02 H

C 1 2 P 21/02 K
C 1 2 N 5/00 B
A 6 1 K 37/02
C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月25日(2009.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) 血液から脳へと血液脳関門(BBB)を通過できる第1の部分、

(ii) 中枢神経系成分と相互作用できる第2の部分、および

(iii) 脳から血液へと血液脳関門(BBB)を通過できる第3の部分、

を含んでおり、ここで該第1の部分、該第2の部分および該第3の部分が結合している、タンパク質組成物。

【請求項 2】

第1の部分が、インシュリン受容体、トランスフェリン受容体、レプチン受容体、リポタンパク質受容体およびIGF受容体からなる群から選択されるBBB受容体媒介輸送系により輸送される、請求項1記載の組成物。

【請求項 3】

第2の部分が、抗体、抗体フラグメントまたはScFvを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項 4】

ScFvが、アルツハイマー病(AD)のA β アミロイドペプチドに対するScFvである、請求項3記載の組成物。

【請求項 5】

第1の部分が、抗体、抗体フラグメントまたはScFvを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項 6】

抗体、抗体フラグメントまたはScFvが、インシュリン受容体、トランスフェリン受容体、レプチン受容体、リポタンパク質受容体およびIGF受容体に関するものである、請求項5記載の組成物。

【請求項 7】

第1のイムノグロブリンの重鎖のある部分または全てをコードしている第2の配列と操作可能に結合した第1のイムノグロブリンの軽鎖のある部分または全てをコードしている第1の配列を含む一本の核酸配列であって、ここで該第1の配列は該軽鎖と共有結合したScFvの融合タンパク質として発現される第2のイムノグロブリンから得られる該ScFvをさらにコードしているか、または該第2の配列は該重鎖と共有結合したScFvの融合タンパク質として発現される第2のイムノグロブリンから得られる該ScFvをさらにコードしている、核酸配列。

【請求項 8】

ScFvが、A β アミロイドに関するものである、請求項7に記載の核酸。

【請求項 9】

請求項7の核酸を含む細胞。

【請求項 10】

イムノグロブリン融合タンパク質の製造方法であって、ここで該融合タンパク質は、抗体構造に融合したイムノグロブリン重鎖または抗体構造に融合したイムノグロブリン軽鎖を含んでおり、真核生物細胞中に一本のタンデム発現ベクターを恒久的に組み込むことを含

み、ここで該融合タンパク質についての遺伝子、ならびに該イムノグロブリン軽鎖についての遺伝子または該イムノグロブリン重鎖についての遺伝子が、1 片の DNA に組み込まれている、イムノグロブリン融合タンパク質の製造方法。

【請求項 1 1】

抗体構造が ScFv である、請求項 1 0 に記載の核酸。

【請求項 1 2】

ScFv が、脳疾患と関連のある病因物質に関するものである、請求項 1 1 に記載の核酸。

【請求項 1 3】

血液から脳へと血液脳関門（BBB）を通過できる第 1 の構造、
CNS 疾患と関連のある病因物質と相互作用できる第 2 の構造、および
脳から血液へと血液脳関門（BBB）を通過できる第 3 の構造
を含む有効量の組成物を含んでいる、CNS 疾患を処置するための医薬組成物。

【請求項 1 4】

第 1 および第 3 の構造が、内在性 BBB 受容体媒介輸送系に対する抗体を含む、請求項 1 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

血液から脳へと血液脳関門（BBB）を通過すること、
脳疾患と関連のある病因物質と相互作用すること、および
脳から血液へと血液脳関門（BBB）を通過すること、
ができる組成物を含む脳疾患を診断するための医薬組成物。